

## 草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ウガンダ共和国
2. 案件名	女子にやさしい教育環境のための地方政府による学校の月経衛生管理（MHM）導入支援
3. 事業の背景と必要性	<p>ウガンダでは生理についての言及がタブー視され、青年期の男女は月経に関する正しい知識、衛生・性教育が不足している。多くの女子学生は貧困のため使い捨て生理用ナプキンを入手できず、生理期間中は学校を欠席したり、不衛生な物を代用し感染症に罹ったり、また血液が洋服に漏れたのを男子生徒にからかわれ恥ずかしさで通学できなくなり中退してしまうケースが多い。一方でほとんどの学校ではプライバシーを守れる更衣室や洗面所がなく、教員も女子の月経問題に対処できず、学校内で月経衛生管理を実施できる環境が整っていないのが現状である。上記のような現状にも関わらず政府機関として学校の月経衛生管理に取り組む仕組みや基盤がないのが現状である。</p> <p>前回（2021～2024年）の草の根技術協力事業により、女子生徒の欠席率が91%から15%に改善されるなど成果があったが、活動の持続性は各学校や教員の熱意に依存していた。今後は地方政府による制度的な仕組み化が不可欠である。</p> <p>本事業では、ワキソ県ナンサナ自治区を対象に、地方自治政府に学校MHMの導入・監督・普及の能力を構築し、他地域にも展開可能なモデルを確立する。</p>
4. プロジェクト目標	ナンサナ地方自治政府が自治区内の学校に「学校MHM」を導入・維持管理できる体制を構築する。
5. 対象地域	ウガンダ共和国 ワキソ県 ナンサナ自治区（4行政区：Nansana、Nabweru、Gombe、Busukuma）
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	<p>直接受益者：女子生徒2,100名、男子生徒900名（計3,000名／対象校30校）、教員90名、政府職員12名、学校MHMトレーニング受講者20名</p> <p>間接受益者：保護者1,500名、地域住民1,050名</p>
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校MHMを実践できるコンテンツが作成され、ナンサナ地方自治政府が学校MHMを管理する能力を身につける。</li> <li>2. ナンサナ地方自治政府の主導により対象校に学校MHMが導入され、「地方政府による学校MHM実践ガイドンス」が作成される。</li> <li>3. 対象校の教員が「学校MHMガイドンス」に従って理解・実施することで、学校におけるMHMが改善され、女子生徒の退学率・欠席率が減少する。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校MHMを実施するためのツールや研修プログラムを開発</li> <li>2. ナンサナ自治政府による学校MHMの導入</li> <li>3. 対象校における学校MHMの実践</li> </ol>

8. 実施期間	(西暦) 2025年10月～2027年5月(1年8ヵ月)
9. 事業費概算額	9,997千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	カウンターパート: ナンサナ自治政府 協力機関: 教育・スポーツ省
<b>II. 団体の概要</b>	
1. 実施団体/指定団体	特定非営利活動法人 Global Bridge Network
2. 主な活動内容	ウガンダ共和国にて教育、環境保全、自立支援など事業を実施。2017年から「生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善」に取り組んでいる。